

KIFA Report

河内長野市国際交流協会



Happy
New
Year!



Vol. 118

Jan. 2022

- 新年のご挨拶
- インフォメーション
- 姉妹都市カーメルからのメッセージ
- カーマル国際アートフェスティバル
- 世界の文化ごった煮 2021
- 国際理解授業
- キッチンカー大集合
- 国際音楽交流授業



河内長野市国際交流協会 KIFA は 2022 年
設立 30 周年を迎えます！

Happy
New Year
2022 寅



新年のご挨拶



KIFA 会長 柴 理梨亜

新年あけましておめでとうございます！

KIFA は今年で設立 30 周年を迎えます。1990 年代は河内長野市では新しい住宅の建設と共に人口が急激に増加し、15 歳未満の人口も 2.1 万人と最高でした。そして、新しく関西国際空港が開港することで、関西の各地で国際交流の活動が重要視されるようになりました。その時に設立された KIFA にもたくさんのボランティアの方々が参画しました。その多くは「海外で現地の人たちに大変お世話になったから、これからは日本を訪れる外国の方々に恩返しをしたい！」という思いからでした。加えて、河内長野市の住民や未来を担う子どもたちに世界平和を目指し、外国との文化交流や様々な体験を通して多文化理解を深めてもらえるようにと活動がスタートしました。

河内長野市教育委員会が取り組み、KIFA が引き継いだ OSAKA IN THE WORLD の多文化交流事業では多くの学生のホームステイを受け入れました。メキシコ、タイ、マレーシア、トルコ、

韓国、中国、ペルー、ベトナム、ブルガリア、フィリピン、アイルランド、ロシア、イタリア、ネパール、ジョージア、インド、アルゼンチン、ウクライナ等にまるで家族が増えたような思いになりました。受け入れた若者たちと交流して、日本の家族の在り方や生活を見直すきっかけになったり、ホストした学生を通じて異なる地域の家族同士がつながるなどを経験した人たちもいます。このように、国際交流は地域を繋いで、人と人を国内であれ、海外であれ、繋いでいきます。コロナ危機の中でも、これらの海外の「家族」から互いを思いやるメッセージが届きました。ウイルスの脅威にさえ勝てる絆で、これからも人々の心が繋がっていくことを祈ります。

2022 年はみなさんが幸せで心豊かな毎日を過ごせることを願っております。そして、河内長野市が国籍や出身地を問わず、すべての住民にとって住み続けたい、愛するわが町でありたいと思います。その実現に向け、多文化共生社会の構築に KIFA はこれからも力を注いでいきますので、みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。



カーメル姉妹都市委員会
前会長 バーバラ・モジャー氏

みなさん、こんにちは！カーメルから挨拶を送ります。ここにも、皆さんに「こんにちは」を言いたい誰かがいますよ。（モックルくん）河内長野の友達を恋しがっていますが、元気で楽しくやっています。私達の 25 年間に渡る姉妹都市交流は、他に誇れる業績です。私達の交流は実り多く堅実で、更に何年も続く交流の土台を築き上げたと思います。

歴代の市長のご支援と皆さんのハードワークに感謝しています。山本明彦前会長、あなたのリーダーシップにも感謝しています。一緒にやってきた多くの活動を覚えていますが、中でも 1996 年にあなたのお父さんと一緒に、市役所の広場で、スクエアダンスをしたことが鮮明に思い出されます。これからも健康で、幸福で、その笑顔を忘れないでいてください。また近いうちに皆さんとお会いしましょう。あなた方は、とてもとても特別な友人です。心からの愛を送ります。おめでとうございます！

写真は、カーメル市の「河内長野日本庭園」の一郭



カーメルモニュメント記念式と姉妹都市からのメッセージ



カーメル姉妹都市委員会
新会長 エヴァン・クルーツナー氏

同氏は 2022 年 1 月より、
奥様のソフィーさんとともに、
会長に就任されました

カーメル姉妹都市委員会を代表いたしまして、設立 30 周年のお祝いを申し上げます。それは、目覚ましい業績であり、数々の骨折り、献身的活動、そして世界中の人々をを絆でつなげようという使命感から成っていた事かと思ひます。カーメルは河内長野と姉妹都市となり、皆さんの 30 年に渡る業績を見てこられたことを、とても幸運なことだと思ひます。さらに私達の関係を強め、皆さんが今後の 30 年間に何を成し遂げられるかを楽しみにしています。おめでとうございます！



写真は、ビデオ撮りの 1 場面



カーメル姉妹都市モニュメント：

カーメル市との姉妹都市交流 25 周年を記念して、河内長野市役所のモックル・フルル広場にカーメル姉妹都市モニュメントが 2020 年春に完成しました。コロナ禍で開催できなかった完成記念式典が 2021 年秋にビデオ制作の形でおこなわれました。

モニュメントはカーメル市のアート＆デザイン地区のゲートを模したもので、中央にはカーメル市長ジェームズ・ブレナード氏から寄贈されたアート＆デザイン地区のロゴプレートがはめられています。

世界の文化ごった煮 World Cultural Potluck 2021

2021年12月5日(日)

12:00 ~ 16:00

キックス全館



昨今のコロナ禍の状況のもと、2年ぶりの開催となる今回の“世界の文化ごった煮 2021”、果たして、どれほどの方に、お集まり頂けるだろう？ 関係者のその心配をよそに開催時刻の12時になる頃、4階のイベントホールには既に多くの方の笑い声と笑顔がありました。インドネシア、カナダ、オーストラリア、フィリピン、中国、南天苑(日本)、スイス、ペルー、それぞれのブースに順番にカメラを向けていくと、皆さん本当に晴れやかな良い笑顔！人と人とのリアルな交流は、やはり何事にも代え難いな・・・と、始まって早々、感動してしまうほど。コロナ禍の環境が長くなってしまった“現代人あるある”なのかもしれません。

本年度のステージプログラムは長野高校和太鼓部による力強い和太鼓演奏からスタート。続いて煌びやかで艶やかなインド舞踊へとステージは続き、多くのカメラがステージへ向けられる中、続いてはダンスパワーズによる、若さ弾けるダンスの数々。はずむ笑顔と軽やかな体が次々に宙を舞うエネルギー溢れるその姿に、観客の皆さんも釘付けです。続いてステージは、紫の美しい衣装を身にまとった KIFA 語学クラブの中国語講師である劉麗先生による、中国版「蛍の光」などの心温まる歌の披露のあと、休憩中にはフィリピンのスクリーン映像が流れました。ホール内では至る所で人と人が再会や出会いを喜ぶ姿や、お買い物を通じて楽しい国際交流や写真撮影などを行う姿が数多く見られました。ブースの中には、「Can I have one of these please? (これを一つ頂けますか?)」の声掛けが必要な英会話レッスンを兼ねた楽しいブースも(笑)。各国の美味しい食べ物や手作りスイーツに手作り雑貨、自慢の一品が並ぶ中、色んな味を一度に楽しめるよう個別に包装された外国のお菓子や、お試し感覚で1パックから買える中国茶や採れたてのパクチーなどもあり、目にも心にも新鮮な、世界のブース巡りが楽しめました。

ステージプログラムはその後しっかりと美しいピアノ演奏から第二部を迎えます。キックス全館が会場となり、道路を挟んだ向かいではキッチンカーイベントも行われていた今回のごった煮。この頃になると、腹ごしらえを済ませ、様々なブースを回られたあとのお買い物袋を手にされた方々の姿も。ステージはハワイアンミュージックの演奏から鮮やかなフラダンスグループの登場へと続き、会場を彩ります。沖縄の歌「童神」をバックに、生まれたばかりの我が子を愛おしそうに抱く、ゆっくりとした柔らかなフラの振り付けや、ハットを被ってロープを投げる仕草などもあるユニークなカウボーイスタイルのフラなどもあり、見ごたえも抜群。ステージは残すところあと二組。続いて登場したのは南米ペルーから息の合ったラテン音楽のフローレス・デュオ。ラテンのリズムに乗せて奏でられる耳馴染みのある歌の連続に、会場の空気も自然と熱くなっていき、コーヒールンバなどではとうとう立ち上がって踊りだす方も・・・！盛り上がったステージも終盤に差し掛かり、最後に登場したのは幅広い年齢のメンバーで活躍されているゴスペルグループ、Make Us One。「サイレント・ナイト」などのクリスマス・メドレーが、希望溢れる歌声によって、会場内に響き渡ります。「この交流がますます広がりますように。」と願って歌われた「Happy Xmas (War Is Over)」では、この平和が世界中にそのまま広がってほしいのに・・・と、ホール内を見渡しなが、世界平和を願わずにいられませんでした。サプライズでフローレス・デュオも舞台へと再登場、客席やブースからも外国人、日本人が飛び入りで加わり、“世界の文化ごった煮 2021”は、観客の皆さまのあたたかい拍手と出演者全員の笑顔の中、無事、フィナーレを迎えました。





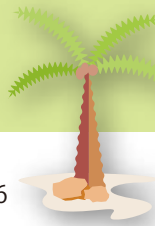
キックス3階では、ハーバリウムやしめ縄やミニクリスマスツリーを作ったり、消しゴムはんこで小物を作ったりとワークショップに人が集まっていました。今年はいじめての絵写経は、いろいろな仏様の描かれた用紙に写経をしていくというもの。いつもと少し違う空気が流れていくような気がしました。



ハワイエでは、販売と展示が行われました。日本語サロンと語学クラブが、活動内容の展示を行い、担当者が興味を持たれたお客様に説明をしました。「プチポケット」は、今流行の多肉植物の可愛い鉢物やアクセサリを販売しました。KIFAフリマは、お宝を発掘しようとするお客様で賑わいました。



子どもたちに大人気だったのが、「ハワイアン マカヒキゲーム」5つのミニゲームを楽しむことができ、すべてクリアするとガチャガチャかハワイのレイがもらえます。「アロハ」「マハロ」とハワイ語も聞かれました。



取材をしていて、中国の女性から「ニーハオ」と声を掛けられ、握手を求められました。後で話を聞くと、私が知り合いの人に似ていたようで、カタコトで「アナタ、中国人じゃないの」と言われ、大笑い。こんな触れ合いがあるのも「ごった煮」ならではのですね。

ハートグローバルの部屋では、これまで河内長野で6回音楽を通じたワークショップ（ミュージックアウトリーチ）を開催してきた「ヤングアメリカンズ」に替り、同様のアウトリーチプログラムを提供する「ハートグローバル」の説明会が開かれました。コロナの影響でワークショップは開催できていませんが、現在はオンラインのワークショップを続けています。河内長野でも2022年6月ラブリールホールでの開催を目指しています。



キックス1階のエントランスでは、「JICA 関西」による「くらして初めて知った（ど）ローカルごはん」と題した、実際にJICAのメンバーが色々な国に行き、身をもって知った各国の食事のパネル展示と、各国の民族衣装の展示が行われました。

ベトナムの展示では、グエン・ドクさんとの交流の紹介や絵本「ぼくのお父さんはドクちゃん」の紹介・販売をしていました。

ミャンマーの展示では、軍事勢力の弾圧により世界の注目を集めるようになってしまったミャンマーの実情が紹介され、力のこもったメッセージが発信されていました。



キッチンカー大集合！

2021年12月5日（日）11：00 ～

今年度は、コロナ対応として、ごった煮でのキックス内の飲食は不可となりました。頭を痛めていたところ、「BALI COFFEE」様から協力のお申し出があり、「一般社団法人キッチンカマルシェ協会」様のご協力で道路を隔てた場所にキッチンカーが集合しました。

目玉は「BALI COFFEE」様の、インドネシアのハラルフライドチキン、「旅する象」様のフランスのクレープ、「石窯 PIZZA ANTHONY」様のイタリアの石窯ピッツァ、ジェラート等々国際色豊かなものばかり。腹が減っては戦は出来ぬとばかりにスタッフも開店早々のキッチンカーに押しかけました。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Apr	16・23・30	18・25	13・20・27
2月	May	6・13・20・27	1・8・15・22	3・10・17・24
3月	Jun	6・20・27	1・8・15・22	3・10・17・24

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00～16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00～11:45

市民交流センター (KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00～20:00

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラス スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (中級)	中国語 (入門)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	10:00~11:30
開講日	1月	8	11・25	18	7・21	5・19
	2月	12	8・22	1・15	4・18	2・16
	3月	12	8・22	1・15・29	4・18	2・16

■広げよう！深めよう！国際交流の輪 つながりフェスタ開催！！

コロナで昨年度実施できなかったボランティアフェスティバルが「つながりフェスタ」のネーミングで帰ってきます。規模は少し小さくなりますが、KIFAのブースで河内長野を盛り上げたいと思いますので、ぜひお立ち寄りください！！

- と き：2022年1月22日（土）10:30～15:30
- ところ：イズミヤ ゆいテラス河内長野
- 申込み：不要 直接会場へ



2019年のボランティアフェスティバルにて

■多文化の部屋 ～パラグアイ編～

南米にあることは知っていても、どんな国か知らない人が多いかも。実は日本との関係が深いところがあるんです。地球の反対側にある国のお話をぜひ聞きに来てください！

- と き：2022年2月19日（土）14:00～15:30
- ところ：市民交流センター 3階 大会議室
- 定 員：30名（先着）
- 申込み：事務局へ電話で（受付開始 2月3日）

■国際料理教室

～お花見弁当を作りましょう～

ゆっくり桜を楽しめなかったこの2年間、そろそろみんなで集まりたいところです。冬来りなば春遠からじ。華やかなお花見弁当で春を満喫しませんか。

- と き：2022年2月26日（土）10:00～14:00
- ところ：市民交流センター 4階 食工房
- 参加費：KIFA 会員 1,000円 一般 1,500円
- 持ち物：エプロン、マスク、三角巾、ふきん
- 定 員：20名（先着）
- 申込み：事務局へ電話で（受付開始 2月3日）

※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は、中止または延期となる事がありますことをご了承下さい。

★カーメル国際アートフェスティバル2021★ Carmel International Arts Festival

コロナ禍で、河内長野からの参加は2年間見送られた姉妹都市カーメルでのアートフェスティバルの写真が届いています。在住の日本人の方が、名前を漢字と筆で書いて、現地の人に喜ばれたようです。ブレナード市長も写真に入られています。後ろには、絵画交換の子どもたちの絵も飾られています。



～年末年始休業のお知らせ～

12月26日～1月3日は
事務局はお休みとさせていただきます。

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30
開講日	1月	7・21	12・26	12・26
	2月	4・18	9・16	9・16
	3月	4・18	2・9	2・9

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会 (KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス) 3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

国際理解授業

世界の国々のそれぞれの文化を理解するために、KIFAから在留外国人が講師として河内長野市内の中学校、高校に出向いて自分の国の紹介をしています。昨年は10月から12月にかけて、市内の千代田、長野、南花台、加賀田の4中学校と府立長野高校において授業が行われました。学校へ通うために激流の川をロープ一本で渡る子どもたちの姿に仰天したり、見たことのない食べ物の紹介や、日本とは全然違う生活の様子を知って、学生たちの目は輝きっぱなしでした。



ブラジル



フィリピン



ネパール



ペルー



オンラインで 国際音楽交流授業



河内長野メディアセンターの梅田先生企画、国際音楽交流授業が美加の台小学校で開催されました。参加国はインド、インドネシア、台湾、フィリピンと日本。美加の台小では4年2組の子供たちが様々な楽器を演奏、インドは伝統舞踊、台湾の小学校は歌を歌ってくれました。インドネシアは伝統楽器のアンクルンを演奏。ドラえもんを演奏してくれた時には子供たちもみんな歌いました。最後はフィリピンからCPUダンスカンパニーがユネスコ認定世界遺産の教会で伝統舞踊を披露してくれました！皆さんご参加ありがとうございました！みんなでより良い世界、より良い未来を築き上げましょう！

姉妹都市提携25周年記念ビデオ YouTubeで公開予定

コロナ禍でお披露目できなかったアメリカ、インディアナ州カーメル市との姉妹都市提携25周年記念モニュメント完成のお祝いと姉妹都市交流の歴史をビデオで紹介します。

2021年秋に河内長野市長、島田 智明氏とKIFA 会長、柴 理梨亜氏との対談や、新結成の多文化バンドNeoの演奏などをビデオ収録しました。完成したビデオは、2月にYouTubeで公開予定です。また、KIFAホームページ、Facebook ページ、河内長野市ホームページなどでお知らせします。お楽しみに!!



編

集

後

記

2021 年はコロナに翻弄された1年だったような気がします。2020 年の年末から2021 年の1 月半ばにかけて感染者数の拡大があり、3 月後半には一旦収まったかのような状態。と思うと、また5 月の連休後から増えたものの、6 月末には一旦収まる。オリンピックも近づくし、このまま何とか収束してって、という願いも虚しく7 月半ばからは、これまでにない勢いで感染者数が増えていきました。一部には無謀と考える人たちもいましたが、オリンピック、パラリンピックは無観客で開催となりました。しかし、選手たちの目覚ましい活躍や素晴らしい演技などを目にとると、多くの人がコロナ禍の暗い気持ちからつかの間解放されて、感動の喜びに浸ることができました。ウィルスや日本の夏の暑さに関わらず、スポーツの素晴らしさを改めて感じさせてくれた選手たちには、称賛の気持ちしかありません。成績だけでなく、それぞれの選手のこれまでの過程のストーリーもまた、感動の気持ちを引き出してくれました。そして、コロナ感染はパラリンピックが終わる頃から徐々に減り始めました。10 月には一気に減少に向かい、そのお陰で、KIFA は2 年ぶりのごった煮を開催することができました。コロナ禍で引き裂かれていた人々が、リアルに人と接することの楽しさ嬉しさを再確認するようなイベントになりました。コロナウィルスの新たな変異株オミクロンの発現により、コロナとの戦いはまだ終りは見えませんが、感染対策をしつつ、人とのつながりを徐々に取り戻していけるような2022 年であってほしいと思います。

無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。

お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから

gateau chocolat

<http://www.kifa-web.jp/>

